

2018.12.15  
第3版

# かがやき新聞 冬号

発行所：大原出張所 TEL075-744-2020 発行人：北部山間かがやき隊 大原担当 田邊 成悟



## 大原提言

11月2日（金）大原三千院にて、大原学院の中学三年生7人が、地域への企画や提案などを「大原提言」として、地域住民が集まる中で発表しました。

- 1 大原観光アプリをつくらう
- 2 大原でコラボ商品をつくる
- 3 学院生がより成長できるように
- 4 大原に教育施設を誘致する
- 5 大原にWi-Fiスポットを作る！！
- 6 大原に体験施設をつくらう
- 7 充実した観光のために

どの発表も素晴らしい内容で、現実性、将来性も見据えた柔軟な感性で、大原地域の事をとても良く考察しているなど感じました。提言の中から、現実になる案が出てくるか？この先がとても楽しみになりました。

## 三千院合宿百井登山～百井分校見学

11月28日（水）、大原学院5年生の課外授業である三千院合宿に同行させていただきました。学院から寂光院を経て百井キャンプ場まで登山する行事で、夏に開催の予定が、台風21号の影響で延期されていたものです。

天候にも恵まれ、この日のために子供達が歩く山道を綺麗に整備し、倒木等を撤去していただいた地域の方々の努力に頭が下がる思いで登らせていただきました。

山道は紅葉がとても美しく色づき、様々な木々の葉の色彩が出迎えてくれました。7人の子供達、見守る大人達も無事、登頂し、百井キャンプ場に到着しました。

翌日は旧百井分校にて子供達による清掃活動と地元の林忠夫氏による百井分校にまつわるお話がありました。子供達も話を真剣に聞いている様子で、廃校になった学校と現役の小学生である自分達とを照らし合わせているようで、感慨深いものがありました。校舎も子供達が来た事で喜んでいました。



## 百井町 思子淵神社 鳥居立て

12月7日(金)大原百井町 思子淵神社の二の鳥居の再建が行われました。

事前に百井町で林業を営んでいる地域の住民の方が鳥居にする木材を自らの山で見定めて、伐採し、乾燥させたものを百井町にある宮城工務店さんが加工、設計を行い、鳥居を組み込む作業を地域の住民と百井町に集まる有志との協力のもと行われました。

当日は天候にも恵まれ、およそ15人の人手で作業が行われました。木を切る人、木を加工する人、指揮をとる人、木材を運搬する人、現場を整備する人、重機を扱う人、暖をとるために火をくべる人、それぞれが自らの役割を言葉にせずとも動きだす、フットワークが作り出すチームワークがとても段取りの良い、気持ちの良い作業でした。終盤の笠木を立てる作業に少々手間をとりましたが、無事に柱と学束にはまり、鳥居は再建されました。

先祖代々、この鳥居立てが村人の間で行われており、伝統を守る心意気には活気のある生きる気力を感じました。一人では不可能ではあるが、同じ目的の人々が集い、一つの物事に向かう力というものはとても大きな力になるのだなと体感しました。

百井の思子淵神社の鳥居は杉の皮つきの鳥居のため、全国的に珍しい鳥居です。百井思子淵神社に行った事がない人は是非、この機会に新しい鳥居を観に参拝しに来ていただけたらと思います。

12月8日(土)の夜、大原百井町では初冠雪となりました。本格的に秋が終わり、冬の始まりを感じる季節になりました。一段と寒さも厳しくなってきたので、皆様もどうかお体にお気をつけてお過ごしください。今年はお世話になりました。来年もどうぞ宜しくお願いします。

